

## 日韓・韓日未来パートナーシップ基金共同事業

### 日本教師韓国派遣プログラムを実施

#### —両国の教育課題を共有—

2024年8月24日～29日

「日韓・韓日未来パートナーシップ基金」共同事業 日本教師韓国派遣プログラム  
参加者：日本の高校教師50人

経済広報センターは8月24～29日の6日間、日本の高等学校教師50人を韓国に派遣し、学校視察や企業訪問等のプログラムを実施した。同プログラムは、経団連と韓国経済人協会（韓経協）が設立した日韓・韓日未来パートナーシップ基金の若手人材交流事業の一環として、日本、韓国それぞれの高校教師を派遣・招聘し、交流を図るもの。今回は、2024年1月の韓国の高校教師50人の日本招聘に続き実施された。

#### ■歓迎レセプションの様様

リュウ・ジン韓経協会長、キム・ホンギョン外交部第1次官、キム・ユン韓日経済協会会長らがあいさつ。未来志向の日韓関係構築には、若い世代を教え導く教師らの力が必要不可欠であるとして、同プログラムの意義と重要性を述べた。

続いて、24年1月に韓国教師が訪問したかえつ有明高等学校の児島玲奈氏が日本教師を代表してあいさつした。韓国教師や生徒らとの意義深い交流に触れつつ、今回の韓国訪問における抱負や期待を表明した。また水嶋光一駐韓国特命全権大使が祝辞を述べ、強固で安定した日韓関係の構築には、政府間のみならず人的往来等、重層的な交流が必要不可欠であると強調した。

歓迎レセプションには、24年1月に訪日した韓国教師17人も参加。各テーブルの日本教師たちと日頃の教育現場の課題等を共有するなど、活発に意見交換した。

#### ■レクチャー等を通じ、日韓関係や韓国の教育・文化などを多面的に理解

現代日本学会のキム・ウンヒ会長から韓日経済通商協力の現状と展望について、民族史観高等学校のパク・ハシク校長から韓国の教育システムや教育方針についてレクチャーを受け、専門的な知識の吸収に努めた。

また、在韓国日本大使館を訪問。浪岡大介公使から、外交官としての経験と知見によって培われた、グローバルなもの見方等について説明を聞いた。

この他、キムチ作り、テコンドーと民族楽器を融合した公演、津寛寺の訪問等を通じて、韓国文化の奥深さを体験した。

## ■教育現場、代表的な企業等を視察

ハナ高等学校および龍仁三溪（ヨンインサムゲ）高等学校では、教育方針やカリキュラムについて説明を聴くとともに、校内の各種施設を視察した。また、グループディスカッションを多用する、ソフト・ハードの両面でICTツールを駆使するなど、複数の科目の授業で先進的な取り組みに触れ、参加者の多くは大いに刺激を受けた。この他、日韓の教師同士で教育のシステムや現場の状況をめぐり議論したことに加えて、生徒とカフェテリアで昼食を共にしながら率直に語り合うなど、積極的な交流が行われた。

企業視察について、ヒュンダイモータースタジオ高陽で、製造工程や安全対策、LGサイエンスパークで、電動化が進む各種の自動車部品、AV機器や快適な生活を提案する家電をはじめとする先端技術に触れた。また、東レ先端素材では、開発現場を見学するとともに、同社の李泳官会長が今後の日韓関係のますますの発展に向けて力強くあいさつした。板橋テクノバレー（創業ゾーン）では、スタートアップを後押しする施設やシステムについて説明を聴き、最先端ビジネス育成に向けた取り組みについて理解を深めた。



25年1月には、韓国教師が訪日する予定である。相互交流を継続し、未来志向の日韓関係の構築に取り組む。

以 上



一般財団法人

## 経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。